



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 名糖産業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,962	5.0	28		715		591	758.0
2020年3月期第2四半期	10,440	1.5	508		2	99.4	68	77.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,811百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 2,298百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.98	
2020年3月期第2四半期	4.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	69,584	42,714	61.4
2020年3月期	66,949	41,274	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 42,714百万円 2020年3月期 41,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				22.00	22.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	4.4	150		1,050	276.1	850	39.7	50.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	17,265,000 株	2020年3月期	17,265,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	370,535 株	2020年3月期	370,233 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	16,894,656 株	2020年3月期2Q	16,894,991 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、輸出や個人消費が急減して、景気の低迷が続きました。需要の減少や設備投資の手控えなどにより製造業の多くは生産が落ち込み、非製造業は消費の激減でさらに厳しい事業環境が続き、景気回復への足取りは重い状況となりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、雇用や賃金への不安により家計消費の防衛意識が高まる一方で、巣ごもり生活による需要拡大もみられました。

こうした情勢のもと、当社グループは、新型コロナウイルス対策を徹底するなかで、商品の安全性確保と品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、高付加価値商品の提供や事業活動の効率化を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて5.0%増の10,962百万円となりました。営業利益につきましては、新チョコレート工場の減価償却費の負担は重いものの、売上高の増加に伴って売上原価率も改善して28百万円となりました。前年同期は508百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業利益の改善に加えて受取配当金の増加や新工場の企業立地奨励金などにより、715百万円となりました。前年同期の経常利益は2百万円でありました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に固定資産売却益155百万円を、特別損失に減損損失など82百万円を計上して、前年同期と比べて約8.5倍の591百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は依然として厳しい状況にあるなか、主力の菓子部門は巣ごもり消費による需要の高まりなどにより増収となりました。チョコレート類は、アルファベットチョコレート50周年企画などの販売促進活動を展開しましたところ、「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズの商品が売上を大きく伸ばして増収となりました。キャンディ類は、受託商品の売上が増加しましたが、自社商品の売上が落ち込み減収となりました。

粉末飲料部門は、テレビCMなどの販売施策に取り組みましたところ、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやココア類などの売上が拡大して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、自社商品の売上が堅調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、主力のパウムクーヘン類が苦戦しましたが、ゼリー類が受託商品の売上を伸ばしたことなどにより増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ4.8%増の9,739百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の増加に伴う売上原価率の改善などにより128百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は226百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、脂肪分解酵素「リパーゼ」が国内・海外ともに売上を伸ばしましたが、海外を主な市場としているチーズ用凝乳酵素「レンネット」が苦戦して売上を落とし微減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品関連用途での「デキストラン」の売上が拡大して増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ8.7%増の1,075百万円となりました。営業損益につきましては、売上原価率の改善や販売費の減少などにより155百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は23百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸マンションの売却などにより、売上高は前年同期に比べ7.1%減の146百万円となり、営業利益は前年同期に比べ11.9%減の54百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加し、12,749百万円となりました。これは、現金及び預金が759百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が519百万円減少したこと、商品及び製品が637百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,335百万円増加し、56,835百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が1,849百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,635百万円増加し、69,584百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ915百万円増加し、6,419百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が784百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ280百万円増加し、20,450百万円となりました。これは、長期借入金が224百万円減少したことや、保有する株式の株価の上昇などにより繰延税金負債が550百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,195百万円増加し、26,870百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,439百万円増加し、42,714百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,277百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ759百万円増加し、4,604百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、1,620百万円（前年同期は2,163百万円の収入）となりました。資金の主な増加要因は、減価償却費1,006百万円、税金等調整前四半期純利益788百万円および仕入債務の増加額784百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額995百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は、381百万円（前年同期は443百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入254百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出493百万円および有価証券及び投資有価証券の取得による支出100百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は、480百万円（前年同期は836百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、長期借入れによる収入190百万円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出414百万円および配当金の支払額370百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日（2020年11月6日）発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,245	4,004
受取手形及び売掛金	4,412	3,892
有価証券	1,300	1,399
商品及び製品	1,018	1,656
仕掛品	487	491
原材料及び貯蔵品	941	1,294
その他	82	43
貸倒引当金	△39	△33
流動資産合計	11,449	12,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,131	9,752
機械装置及び運搬具（純額）	8,881	8,832
その他（純額）	4,685	4,638
有形固定資産合計	23,698	23,222
無形固定資産	98	96
投資その他の資産		
投資有価証券	31,501	33,351
その他	229	193
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	31,701	33,515
固定資産合計	55,499	56,835
資産合計	66,949	69,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,051	2,835
1年内返済予定の長期借入金	835	836
未払法人税等	52	73
返品調整引当金	4	2
その他	2,559	2,671
流動負債合計	5,504	6,419
固定負債		
長期借入金	11,995	11,770
繰延税金負債	4,763	5,314
役員退職慰労引当金	12	13
退職給付に係る負債	2,831	2,839
その他	567	513
固定負債合計	20,170	20,450
負債合計	25,674	26,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	26,839	27,059
自己株式	△707	△707
株主資本合計	27,522	27,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,638	14,916
退職給付に係る調整累計額	113	56
その他の包括利益累計額合計	13,752	14,973
純資産合計	41,274	42,714
負債純資産合計	66,949	69,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,440	10,962
売上原価	7,450	7,339
売上総利益	2,989	3,622
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,416	1,527
運送費及び保管費	706	764
給料手当及び賞与	741	768
退職給付費用	38	2
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	16	△6
減価償却費	60	42
その他	517	492
販売費及び一般管理費合計	3,498	3,593
営業利益又は営業損失(△)	△508	28
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	368	544
投資有価証券売却益	158	0
持分法による投資利益	31	35
企業立地奨励金	-	139
その他	24	25
営業外収益合計	587	750
営業外費用		
支払利息	24	22
固定資産除売却損	32	26
その他	19	15
営業外費用合計	76	63
経常利益	2	715
特別利益		
固定資産売却益	-	155
特別利益合計	-	155
特別損失		
減損損失	-	57
支払補償金	-	25
特別損失合計	-	82
税金等調整前四半期純利益	2	788
法人税、住民税及び事業税	26	140
法人税等調整額	△93	56
法人税等合計	△66	197
四半期純利益	68	591
親会社株主に帰属する四半期純利益	68	591

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	68	591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,353	1,277
退職給付に係る調整額	△13	△56
その他の包括利益合計	△2,367	1,220
四半期包括利益	△2,298	1,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,298	1,811

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2	788
減価償却費	1,165	1,006
減損損失	-	57
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	△73
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△6
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△157	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	32	△130
受取利息及び受取配当金	△372	△549
支払利息	24	22
持分法による投資損益(△は益)	△31	△35
企業立地奨励金	-	△139
支払補償金	-	25
売上債権の増減額(△は増加)	1,006	519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△633	△995
仕入債務の増減額(△は減少)	285	784
未収消費税等の増減額(△は増加)	832	△22
その他	△386	△198
小計	1,746	1,053
利息及び配当金の受取額	372	549
利息の支払額	△24	△22
企業立地奨励金	-	139
支払補償金	-	△25
法人税等の支払額	△81	△120
法人税等の還付額	150	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,163	1,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△109	△100
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	243	3
有形固定資産の取得による支出	△559	△493
有形固定資産の売却による収入	0	254
その他	△18	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	150
長期借入れによる収入	-	190
長期借入金の返済による支出	△414	△414
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△336	△370
その他	△33	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△836	△480
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	884	759
現金及び現金同等物の期首残高	2,594	3,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,479	4,604

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,291	990	158	10,440	—	10,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,291	990	158	10,440	—	10,440
セグメント利益又は損失(△)	△226	△23	61	△188	△320	△508

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,739	1,075	146	10,962	—	10,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,739	1,075	146	10,962	—	10,962
セグメント利益	128	155	54	338	△310	28

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては57百万円であります。

(別紙)

名糖産業株式会社

2021年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	2016/9月	2017/9月	2018/9月	2019/9月	2020/9月
売上高	9,991	10,608	10,594	10,440	10,962
営業利益	128	317	128	△ 508	28
経常利益	363	648	373	2	715
親会社株主に帰属する 四半期純利益	430	504	307	68	591

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期予想
売上高	22,137	23,565	23,681	22,995	24,000
営業利益	556	927	207	△ 629	150
経常利益	1,030	1,422	692	279	1,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	877	664	560	608	850